

証券コード (3851)

第23期 事業報告書

2015.4.1～2016.3.31

日本一
SOFTWARE

株式会社日本一ソフトウェア



株主の皆様へ

創業理念「ゲームは作品ではなく商品である」

いつの頃からか、ゲームのことを作品と呼ぶようになりました。しかし当社グループは常に「商品」としてゲームの開発、販売に携わっております。

「作品」とは、制作者の血の滲むような努力の結果出来上がってきたものとのイメージがあります。確かに関わったスタッフ全員の才能や努力は必要です。

しかし、一番重要なことは「商品」を通じて業務として携わっていただいた方々、そしてなによりもユーザーの方々に喜んでいただくことだと信じております。

「日本一ソフトウェア」とは、スタッフひとりひとりが誰にも負けない能力を持ち続け、努力し続けるという意味で社名をつけました。

その能力を駆使し、努力を積み重ね、統合して、ユーザーはもちろんのこと、流通や出版、そのほか当社グループの「商品」に関わった多くの方々に喜んでいただいて、はじめて「売上」「利益」が意味を成すものだと考えており、スタッフ及び当社グループの繁栄に繋がるものだと考えております。

経営理念「それって、面白い？」

ゲームをはじめとしたエンターテインメント、すなわち娯楽は、衣食住には関係ありません。生活必需品ではないので、存在しなくても人は生きていけます。しかし、だからこそ、私たちエンターテインメントに携わる者は、常にお客様に喜んでいただくことを第一に考え、行動しなければなりません。

どうすれば、お客様に喜んでいただけるのか？

どうすれば、お客様に笑っていただけるのか？

これをひたすら考え抜き、商品やサービスとして提供するのが、私たちの仕事です。

エンターテインメントである以上、面白くて当たり前の厳しい世界。チャレンジ精神とサービス精神を忘れることなく、そして『原点』※『創業理念』に基づき、美しさを忘れることなく、面白さの探求者として、私たちは冒険し続けます。

『それって、面白い？』

私たちは日々問い続けます。さらなる面白さを追求していくために。

※『原点』につきましては、当社WEBサイト(<http://nippon1.co.jp/>)をご覧ください。

INDEX

当期の取り組み	02	中期戦略	10
連結財務ハイライト	07	会社概要	13
決算のポイント	08		

第23期の概況および今後の方針・展望

第23期は、日本国内においては『夜廻』(PlayStation®Vita)が5万本を超えるスマッシュヒットとなりました。

「小さく産んで大きく育てる」という方針のもと、新規IP(知的財産)の開発に積極的に取り組み続けてきた成果の一つであると受け止めております。第24期においても引き続き、新規IPの開発に注力してまいります。

また、海外においては『魔界戦記ディスガイア5』(PlayStation®4)が好調な販売推移を見せ、当初計画を上回る業績をあげることができました。

北米子会社NIS America, Inc.と連携した新たな取り組みとして、2月にはSteamで初代ディスガイアを『ディスガイアPC』としてリリースし、大きな反響をいただいております。

第24期以降も過去資産の有効活用と、パッケージ事業で産み出した商品の価値と収益の最大化を目指し、Steamでの展開を成長・拡大してまいります。

株主・投資家の皆様へのメッセージ

日頃から時には厳しく時には温かくご支援賜りまして、誠にありがとうございます。
この場をお借りして心から御礼申し上げます。

新たな年度となる第24期は、パッケージ事業においては未来の代表作となる新規IP(知的財産)の創出に注力、オンライン事業におきましては堅調なPlayStation®Storeでの配信を更に強化するとともにSteamでの展開を強化してまいります。

ライセンス事業においては、前期好調だった他社様のアプリゲームとのコラボレーションを更に強化し、当社IPの価値の向上を図ることにより、コラボレーションの枠組みを超えた取り組みへと発展させていくことを目指します。

その他事業におきましては、『うたの☆プリンスさまっ♪』シリーズおよび『神々の悪戯』シリーズの受託開発に尽力してまいります。トレーディングカード&グッズの直営店舗『プリニークラブ』(各務原店/金山店)におきましても、お客様に「楽しい」を提供する場として、より一層のサービス向上に努めてまいります。

日本一ソフトウェアは、ビジョン『Entertainment for All』の実現に向けて、あらゆるエンターテインメント分野で活躍できる企業、強いコンテンツを産み出せる企業、世界を舞台に活躍できる企業を目指します。

今後とも、皆様のご指導とご鞭撻を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 新川宗平



当期の取り組み

魔女と百騎兵 Revival

マジョトヒヤツキヘイ リバイバル

PlayStation®4専用ゲームソフト

発売日:2015年9月25日



『魔女と百騎兵 Revival』は、前作『魔女と百騎兵』から、様々な要素を追加・進化させ、発売いたしました。プレイヤーは魔女に召喚された伝説の魔神である百騎兵となり、魔女から与えられた使命を果たすため奔走いたします。

個性あふれるキャラクターと、思わずゲームの世界に入り込んでしまうダークファンタジーなストーリーは、本作の魅力の一つとしてご好評頂きました。

今後発売予定の『魔女と百騎兵2』につきましても、ご期待頂いております。



夜廻

よまわり



PlayStation®Vita専用ゲームソフト
発売日:2015年10月29日



『夜廻』は、「夜の闇に潜む恐怖」をテーマに制作し、発売いたしました。

主人公となる幼い少女が、事故にあった愛犬と、その行方を探して夜の街に飛び出した主人公の姉を探しに、夜の街へ繰り出します。本作は、「小さく作り、大きく育てる」をコンセプトに、完全新作を生み出すべく立ち上げました。

小さかった頃の「夜道を恐れる気持ち」を思い起こす、少し不気味でノスタルジックな雰囲気が話題を呼び、ゲーム雑誌「電撃PlayStation」開催のお客様投票企画「電撃PSアワード2015」にて、見事“インディーゲーム部門第1位”を受賞いたしました。





PlayStation®Vita専用ゲームソフト
発売日:2015年11月26日

殿堂入り
SILVER
シルバー

「週刊ファミ通」2015年
12月3日号の新作ゲームク
ロスレビューにてシルバー
殿堂入り!!



『クリミナルガールズ2』は、前作『クリミナルガールズ』から、キャラクターやストーリーなどを一新させ、続編として発売いたしました。

地獄の塔を舞台に、7人の少女たちの指導教官となって、共に試練に立ち向かいながら、現世への「ヨミガエリ」のために塔の頂上を目指します。

コミックサイトでの同時連載も始まり、メイドカフェとのコラボレーションなど、多様なメディアでの展開を行いました。

また、前作からパワーアップした、少女の悪しき心を更正させる「おしおき」などのシステムをご好評いただき、ゲーム雑誌「週刊ファミ通」開催の編集者による投票企画「新作ゲーム クロスレビュー」にて、「シルバー殿堂入り」となりました。



PlayStation®Vita専用ゲームソフト
発売日:2016年2月25日

勇者死す。

殿堂入り
★ゴールド★

『週刊ファミ通』2016年3月3日号の新作ゲームクロスレビューにてゴールド殿堂入り!!



『勇者死す。』は、ケータイアプリとして配信されていたゲームを、コンシューマ用に新しく作り変え、発売いたしました。

主人公である勇者が魔王を倒すところからゲームは始まります。一度は命を落とした勇者でしたが、神様の計らいで5日間だけ命をもらい、余命5日間の勇者として、自分が救った世界を見て周ることになります。

豪華なスタッフ陣との共同開発と、今までにない新しいシナリオに注目が集まり、ゲーム雑誌『週刊ファミ通』開催の編集者による投票企画「新作ゲーム クロスレビュー」にて“ゴールド殿堂入り”となりました。



LINEスタンプ

『魔女と百騎兵』と『魔界戦記ディスガイア』シリーズの歴代メインキャラクターがスタンプになって登場です。現在配信中です。



魔女と百騎兵Revival



ディスガイアシリーズ

海外パッケージ事業



Disgaea 5:
Alliance of Vengeance
邦題: ディスガイア5

©2015 Nippon Ichi Software, Inc.
©2015 NIS America, Inc.
All rights reserved. Disgaea is a
registered trademark of Nippon Ichi Software, Inc.



Disgaea PC:
邦題: ディスガイアPC

©2003-2016 Nippon Ichi Software, Inc.
©2016 NIS America, Inc.
All rights reserved. Disgaea is a trademark or
registered trademark of Nippon Ichi Software, Inc.



The Witch and the Hundred Knight:
Revival Edition
邦題: 魔女と百騎兵Revival

©2013-2015 Nippon Ichi Software, Inc.
©2013-2016 NIS America, Inc.
All rights reserved. The Witch and the Hundred Knight
is a trademark of Nippon Ichi Software,
Inc. Licensed to and published by NIS America, Inc.



『魔界戦記ディスガイア』シリーズ
トークイベント ディスガイアナイト

東京都・阿佐ヶ谷ロフトAにて、お客様と一緒に楽しめるイベントとして、『魔界戦記ディスガイア』シリーズ初の単独トークイベントを開催いたしました。

本イベントでは、『魔界戦記ディスガイア5』の出演者等をお招きし、トークショーや、お客様が選んだ、ディスガイアの人気上位3曲のライブを行いました。

お越しいただいたお客様からのご好評をいただき、大阪にて第2回の開催を予定しております。



『宇宙と大地プロジェクト実行委員会』とは、『宇宙(そら)』と『大地』をテーマに、地域に根差した取り組みを通じた情報を発信すべく、2015年10月に、岐阜新聞社(岐阜市)と当社(各務原市)の双方の出資により立ち上げた実行委員会です。

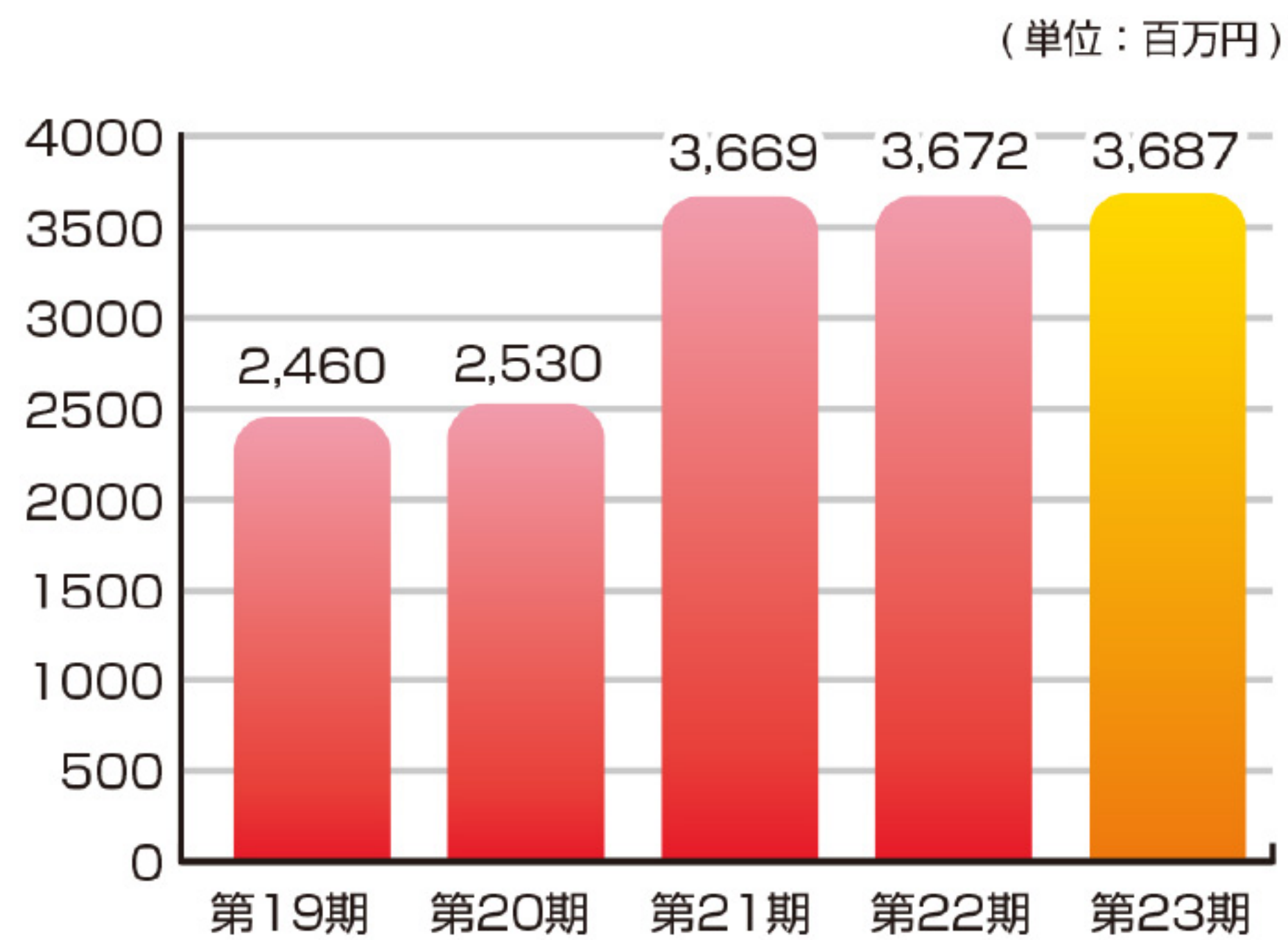
このプロジェクトは、「地域にお役立ちを!!」を合言葉に岐阜新聞社、当社の双方が得意とする分野を活用しながら、アイドルユニット等を通じ地域応援などに取り組むプロジェクトです。



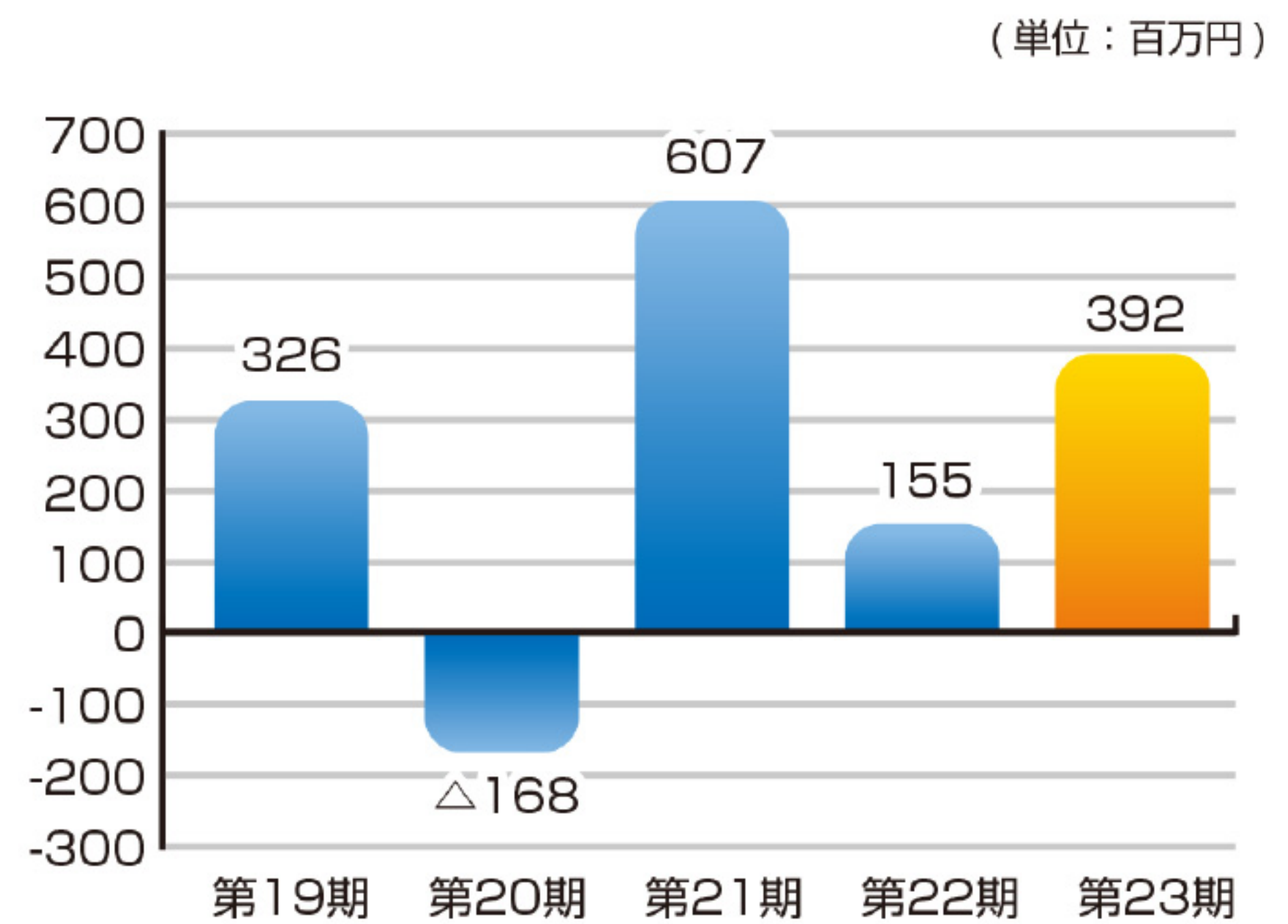


連結財務ハイライト

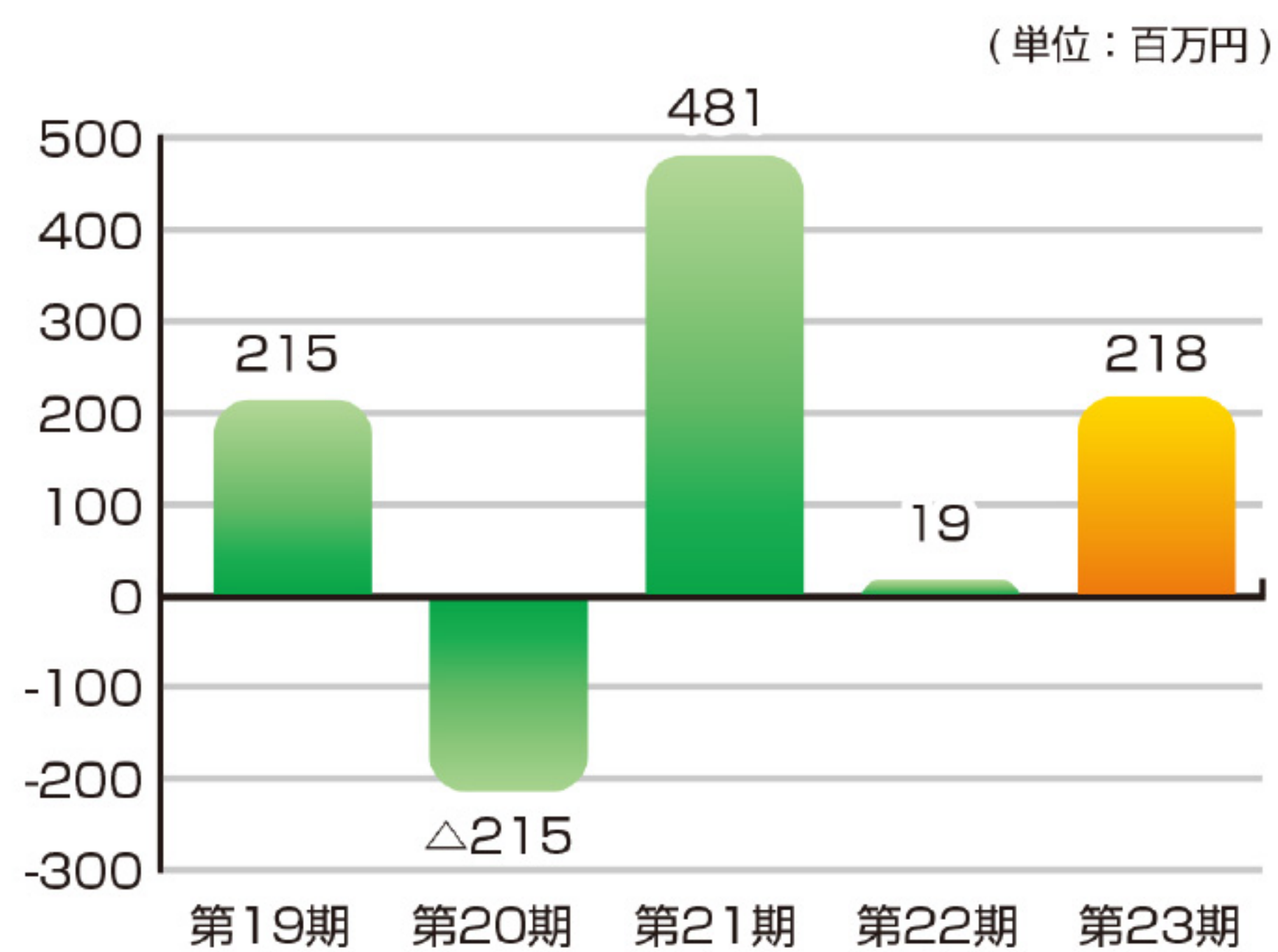
売上高



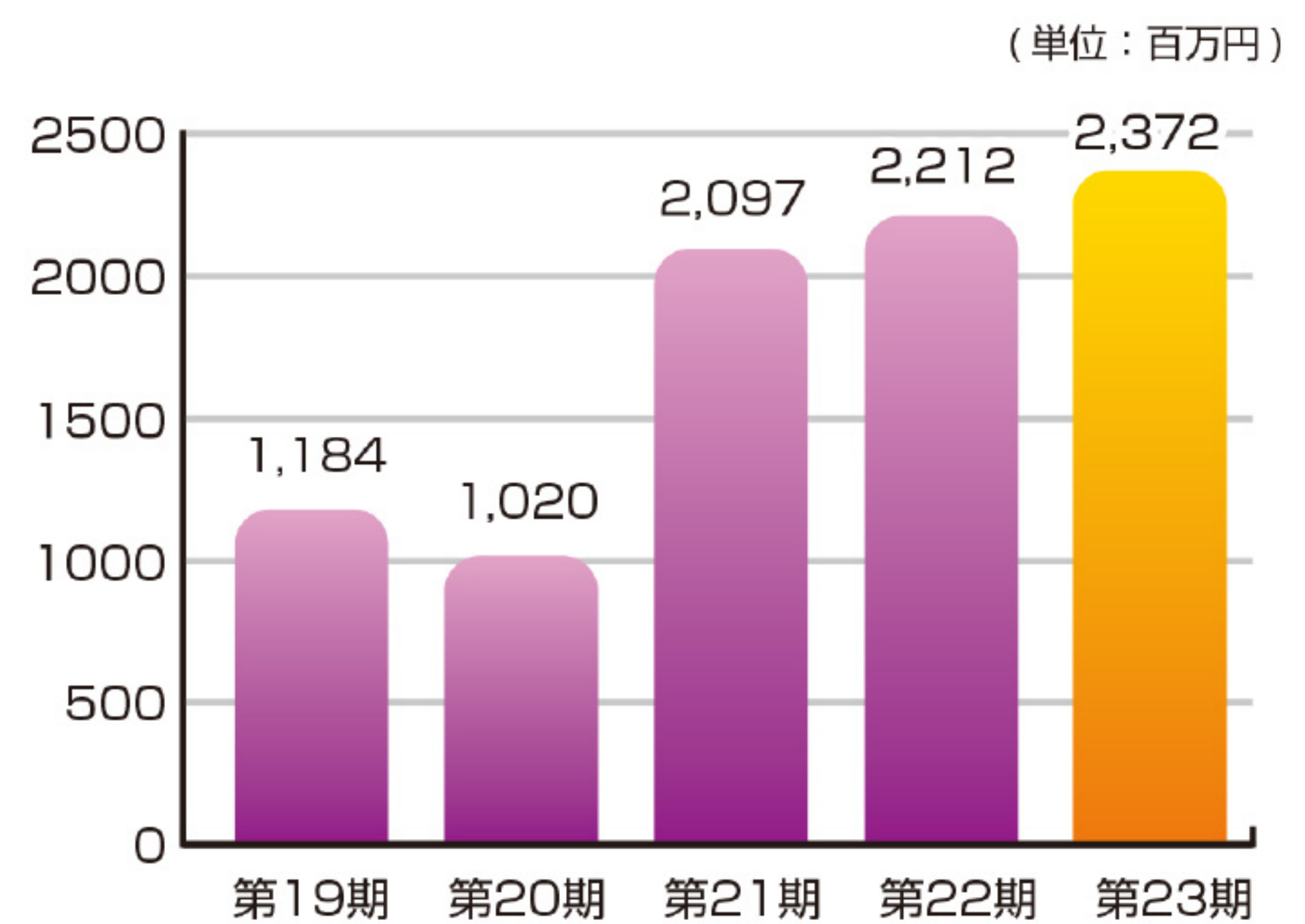
経常利益



純利益(損益)



純資産額





決算のポイント

連結財務諸表(要旨)

連結貸借対照表

[単位：千円]

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当連結会計年度 (平成28年3月31日)
区分	金額	金額
(資産の部)		
I 流動資産		
①現金および預金	1,243,044	1,096,993
②受取手形及び売掛金	500,072	194,397
③有価証券	—	53,329
④商品及び製品	96,264	49,927
⑤仕掛品	153,305	321,734
⑥繰延税金資産	62,969	65,579
⑦その他	108,338	119,930
⑧貸倒引当金	△ 1,700	△ 2,300
流動資産合計	2,162,295	1,899,591
II 固定資産		
有形固定資産		
①建物及び構築物(純額)	290,694	278,683
②機械装置及び運搬具(純額)	4,015	2,333
③土地	191,379	214,495
④その他(純額)	39,645	32,497
有形固定資産合計	525,735	528,010
無形固定資産	28,279	26,840
投資その他の資産		
①投資有価証券	389,206	701,354
②その他	23,358	26,649
投資その他の資産合計	412,564	728,003
固定資産合計	966,579	1,282,854
資産合計	3,128,874	3,182,445

[単位：千円]

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当連結会計年度 (平成28年3月31日)
区分	金額	金額
(負債の部)		
I 流動負債		
①買掛金	189,555	113,222
②短期借入金	260,000	110,000
③未払金	107,058	112,186
④未払法人税等	4,267	45,292
⑤賞与引当金	100,773	122,462
⑥売上値引引当金	134,297	197,366
⑦その他	78,417	66,798
流動負債合計	874,368	767,328
II 固定負債	42,380	42,272
負債合計	916,749	809,601
(純資産の部)		
I 株主資本		
①資本金	521,920	524,177
②資本剰余金	511,920	514,177
③利益剰余金	1,073,388	1,282,318
④自己株式	△ 16,870	△ 16,870
株主資本合計	2,090,357	2,303,802
II その他の包括利益累計額		
①その他有価証券評価差額金	△ 21,750	△ 63,121
②為替換算調整勘定	132,685	106,402
その他の包括利益累計額合計	110,935	43,281
新株予約権	10,832	25,760
純資産合計	2,212,125	2,372,844
負債純資産合計	3,128,874	3,182,445





■連結損益計算書

[単位：千円]

	前連結会計年度 (自 平成 26 年 4 月 1 日 至 平成 27 年 3 月 31 日)	当連結会計年度 (自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 28 年 3 月 31 日)
区分	金額	金額
I 売上高	3,672,421	3,687,983
II 売上原価	2,286,796	1,910,360
売上総利益	1,385,624	1,777,622
III 販売費及び一般管理費	1,245,918	1,349,880
営業利益	139,706	427,742
IV 営業外収益	27,900	41,868
V 営業外費用	11,636	76,707
経常利益	155,970	392,904
VI 特別利益	8,626	12,347
VII 特別損失	23,990	29,800
税金等調整前当期純利益	140,605	375,451
法人税、住民税及び事業税	98,715	161,591
法人税調整額	22,155	△ 5,017
当期純利益	19,735	218,876

■連結キャッシュ・フロー計算書

[単位：千円]

	前連結会計年度 (自 平成 26 年 4 月 1 日 至 平成 27 年 3 月 31 日)	当連結会計年度 (自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 28 年 3 月 31 日)
区分	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	47,440	555,951
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 56,395	△ 481,643
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	250,985	△ 155,431
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	110,629	△ 63,291
V 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	352,659	△ 144,414
VI 現金及び現金同等物の期首残高	890,385	1,243,044
VII 現金及び現金同等物の期末残高	1,243,044	1,098,630

■連結株主資本変動計算書

[単位：千円]

	前連結会計年度 (自 平成 26 年 4 月 1 日 至 平成 27 年 3 月 31 日)	当連結会計年度 (自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 28 年 3 月 31 日)
区分	金額	金額
株主資本		
I 資本金		
前期末残高	521,185	521,920
当期変動額	735	2,257
当期末残高	521,920	524,177
II 資本剰余金		
前期末残高	511,185	511,920
当期変動額	735	2,257
当期末残高	511,920	514,177
III 利益剰余金		
前期末残高	1,063,582	1,073,388
当期変動額	9,806	208,930
当期末残高	1,073,388	1,282,318
IV 自己株式		
前期末残高	△ 16,870	△ 16,870
当期変動額合計	-	-
当期末残高	△ 16,870	△ 16,870
V 株主資本合計		
前期末残高	2,079,081	2,090,357
当期変動額	11,276	213,445
当期末残高	2,090,357	2,303,802
評価・換算差額等		
VI 評価・換算差額等		
前期末残高	18,553	110,935
当期変動額	92,381	△ 67,653
当期末残高	110,935	43,281
VII 新株予約権		
前期末残高	-	10,832
当期変動額	10,832	14,927
当期末残高	10,832	25,760
VII 純資産合計		
前期末残高	2,097,635	2,212,125
当期変動額	114,490	160,718
当期末残高	2,212,125	2,372,844



中期戦略



経営理念
それって、面白い？

創業理念
ゲームは作品ではなく
商品である

原点
美しさ

ビジョン
Entertainment for All

人事理念
自ら考えて行動する、
自ら考えて切り拓く



商品力・技術力の強化

人材育成

1995年の設立以来、当社は『ゲームは作品ではなく商品である』という創業理念のもと、家庭用ゲームソフトウェアの国内外での販売を主要なビジネスとして、多くの関係者の皆様に支えていただきながら成長してまいりました。当社グループの更なる発展を目指し、理念に則った『商品力・技術力の強化』『人材育成』を中心に、中期経営戦略として右記の課題に注力してまいります。

中期経営戦略

◆ 商品力強化

前期に続き、近年の当社グループの重要課題となっております「新たな代表作の創出」を促進いたします。積極的に新規IPの創出に取り組み、お客様からのニーズの高いシリーズタイトル及び『夜廻』をはじめとした既出の新規タイトルにつきましても、継続して丁寧に育ててまいります。

また、自社主催のイベントの活性化、通販の強化、ライセンス事業の拡大などを通じて、各タイトルの商品価値、顧客満足度の向上を図ります。

◆ 技術力強化

新作ゲームの開発を通じて、得意分野である2D開発技術の向上を行います。また、課題分野となる3D開発技術につきましては、採用、人材育成、ツール整備、子会社のNippon Ichi Software Vietnam Co., Ltd.と連携を通じて克服・向上を図ります。

◆ 海外展開強化

好調の北米・欧州市場へのローカライズについて、引き続き注力いたします。また、日本以外のアジア地域においても、『夜廻』『クリミナルガールズ2』など、できるだけ多くのタイトルを積極的にローカライズしてまいります。Nippon Ichi Software Vietnam Co., Ltd.では、引き続き3D技術の向上及びコスト削減に注力いたします。

◆ コンシューマ依存からの脱却

得意分野であるコンシューマ事業は従来通り継続しつつ、前期より開始したSteamへのタイトル供給に注力し、事業として確立いたします。また、新規ビジネスモデルとしての異業種連携の取り組みや、ソーシャルゲームとのコラボ施策など、当社のノウハウとIPを活用し、事業の強化・拡大を積極的に行います。

◆ グループ間シナジー強化

日本一ソフトウェアおよび国内外の子会社間のシナジーを強化するとともに、グループ内の経営効率の向上を図ってまいります。具体的には、NIS America, Inc.との連携による北米・欧州市場への展開の強化、開発子会社エンターテインメントサポートとの連携によるゲーム開発業務・ローカライズ業務・デバッグ業務の促進、海外開発拠点NipponIchi Software Vietnam Co., Ltd.との連携による3DCG業務の強化を図ります。

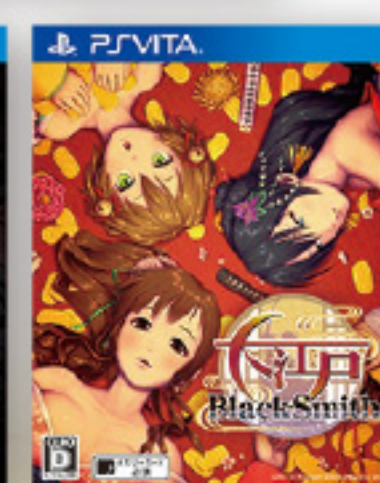
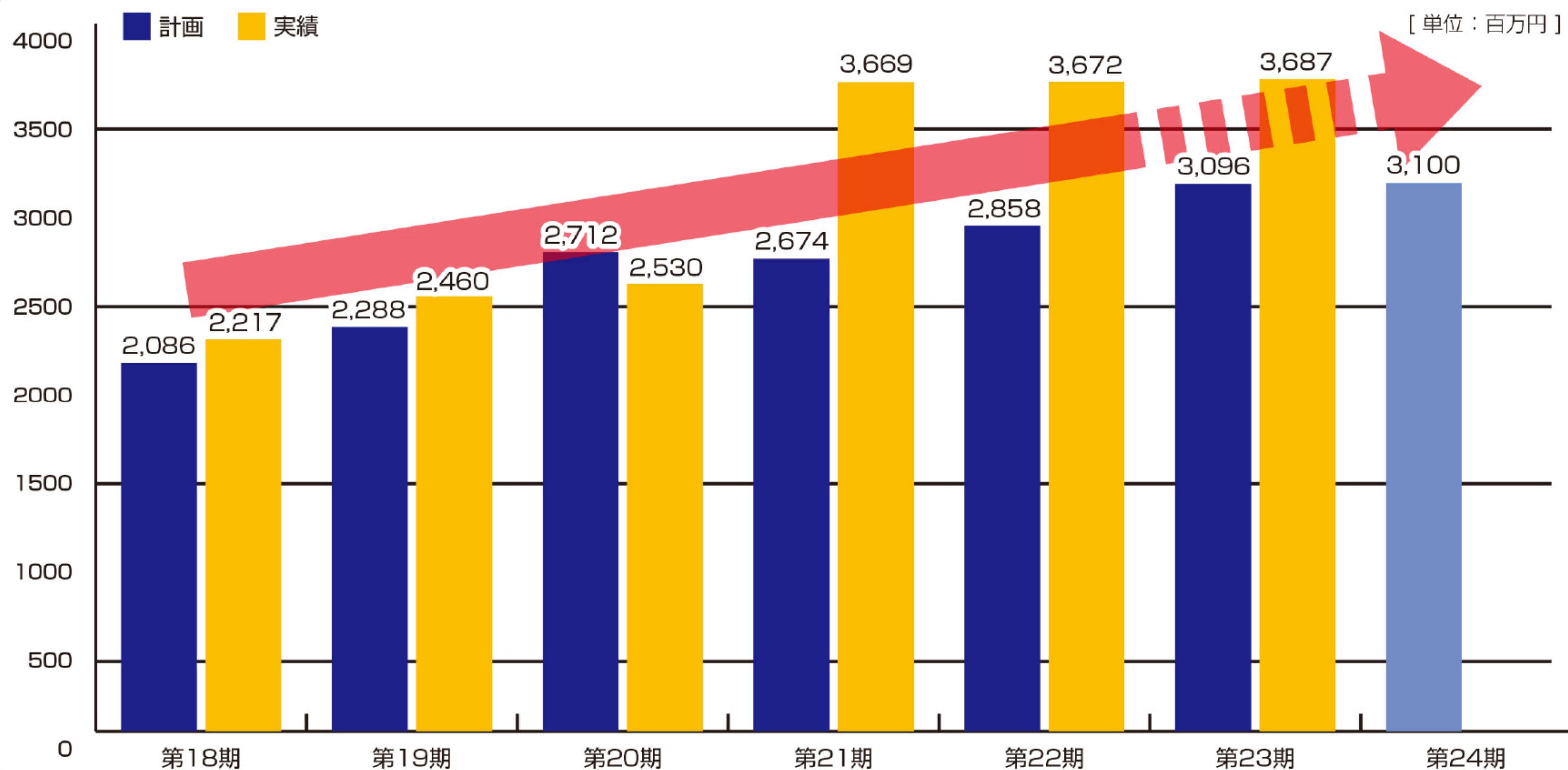
◆ 組織強化

人事理念「自ら考えて行動する、自ら考えて切り拓く」を体現し、当社グループの原点・理念を理解し、実践し、後進を指導できる人材を育成します。学ぶことの大切さを理解し、主体性を持った人材を育成するため、社内外における研修を強化いたします。以上の項目を中心に強化を図り、当社グループの安定的な成長と新たな代表作創出の土壌を作ってまいります。





中期計画



既存タイトルの育成
新規タイトルへの挑戦



会社概要

■設立年月日 1993年7月12日
■本社 〒504-0903 岐阜県各務原市蘇原月丘町3丁目17番 TEL：058-371-7275
■大阪開発室 〒530-0055 大阪府大阪市北区野崎町9丁目13番 梅田扇町通ビル8階 TEL：06-6809-7250

■役員構成
代表取締役会長 北角 浩一
代表取締役社長 新川 宗平
取締役 世古 哲久
取締役 後藤 昭人
常勤監査役 高木 正明
監査役 福井 明
監査役 貝沼 征司

■連結子会社
NIS America, Inc. (米国カリフォルニア州)
株式会社システムプリズマ (大阪府大阪市)
株式会社STUDIO ToOuef (岐阜県各務原市)
株式会社エンターテインメントサポート (東京都豊島区)
Nippon Ichi Software Asia Pte.Ltd. (シンガポール共和国)
Nippon Ichi Software Vietnam Co., Ltd. (ベトナム社会主義共和国)

■事業の内容
パッケージ事業 家庭用ゲームソフト、関連グッズ、物品販売
オンライン事業 家庭用ゲームソフトのダウンロード販売、
携帯電話用コンテンツ、SNSサイトの運営、
スマートフォン用コンテンツの配信・運営
ライセンス事業 著作権の使用許諾収入
その他の事業 アミューズメント施設の運営、
他社タイトルの受託開発、上記以外

■業種別分類 / コード 情報・通信 / 3851
■銘柄略称 日本一 S
■資本金 524,177,576円
■従業員数 168名 (連結)
(2016年3月31日現在)

株式の状況

(2016年3月31日現在)

発行可能株式数 13,600,000株
発行済株式数 5,057,100株
株主数 2,854名

大株主

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
有限会社ローゼンクイーン商会	1,523,400	30.5
北角 浩一	838,700	16.8
加藤 修	190,400	3.8
水元 公仁	130,000	2.6
柿沼 佑一	110,000	2.2

※当社は自己株式58,000株を保有しております。持株比率は、自己株式を除いて算出しております。



株主メモ・WEB サイトのご案内

- 上場証券取引所

東京証券取引所
- 事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 期末配当金受領株主確定日

毎年3月31日
- 中間配当金受領株主確定日

毎年9月30日
- 定時株主総会

毎年事業年度末日の翌日から3ヶ月以内
- 公告掲載方法

電子公告とします。(http://nippon1.co.jp)

ただし、事故その他やむを得ない事由によって公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
- 株主名簿管理人

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
- 事務取扱場所

愛知県名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- 郵便物送付先

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)

TEL：0120-782-031(フリーダイヤル)

取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
- 住所変更、配当金受取方法の

ご指定等について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●配当金計算書について●

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いいたします。なお、配当金領収書にて配当金をお受取の株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

<http://nippon1.co.jp>

当会社概要、IR 情報などを掲載しています。

<http://nippon1.jp>

当社 WEB サイトでは最新のゲーム情報をはじめ、最新動向、グッズの販売まで、随時更新しています。ぜひご覧ください。